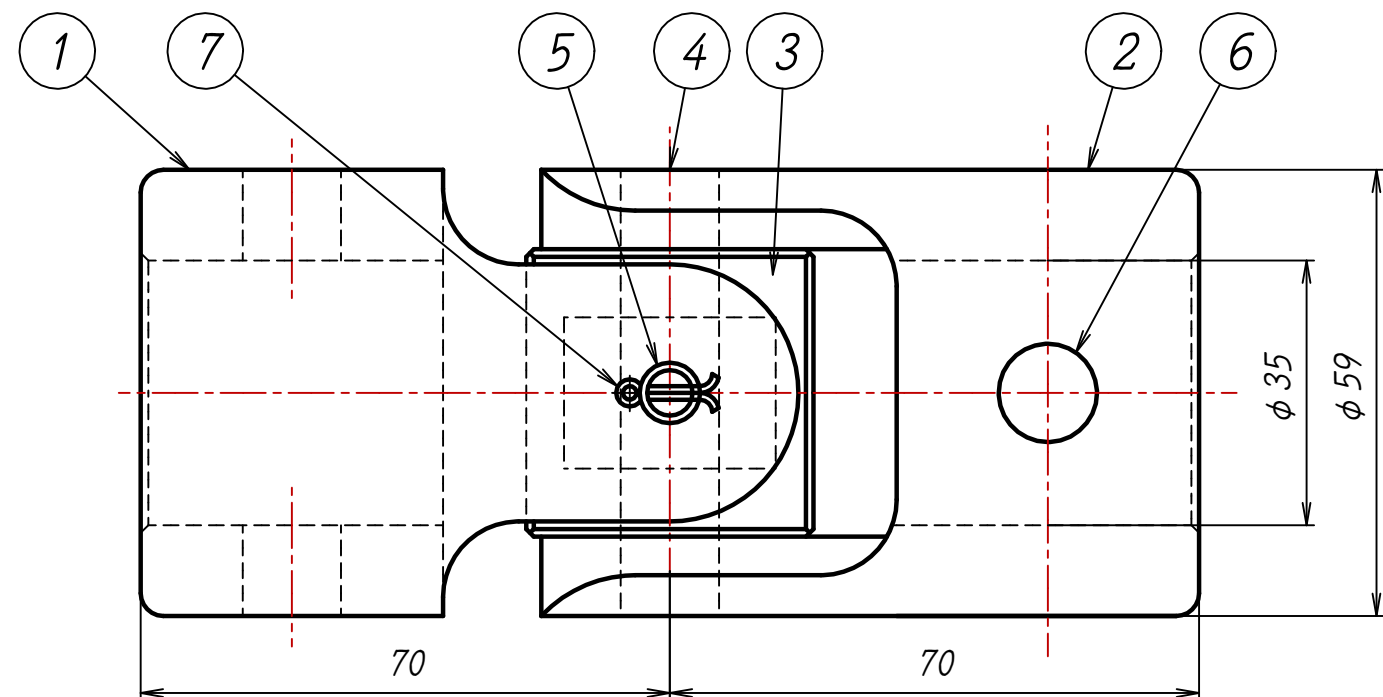
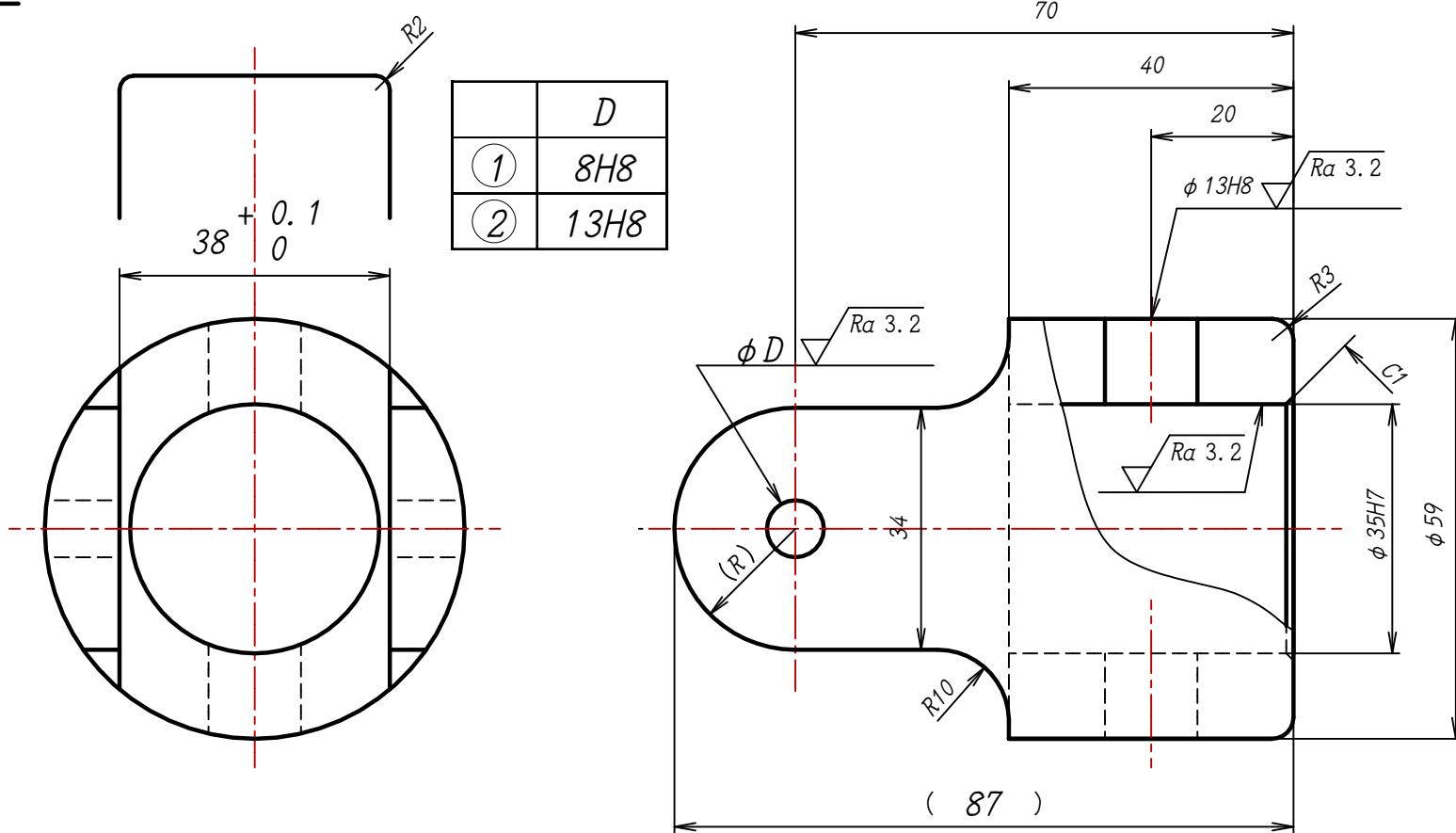
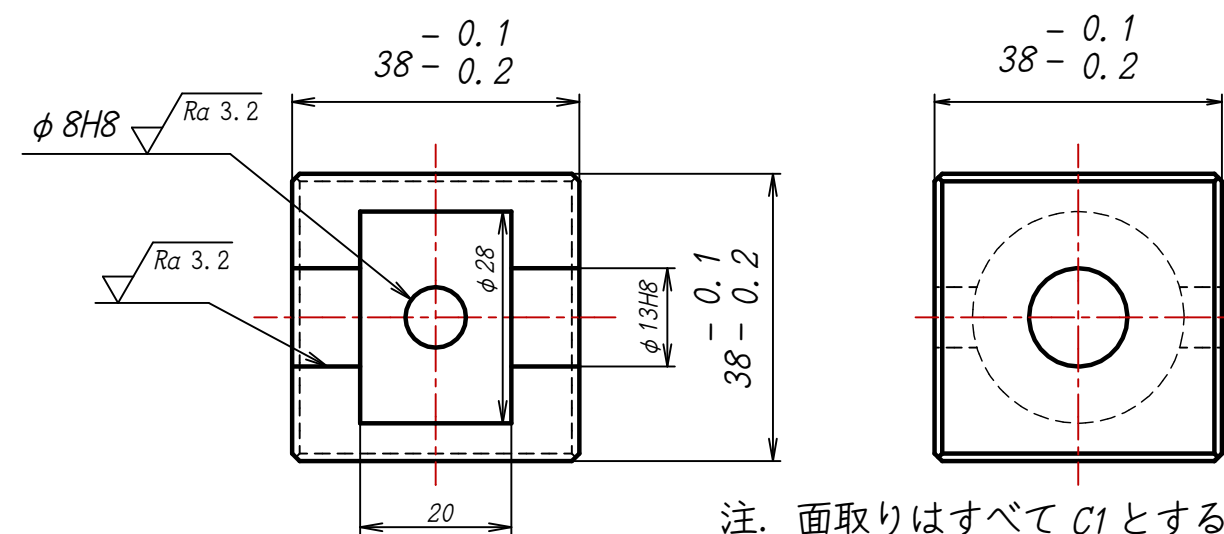



$$\textcircled{1} \quad \textcircled{2} \quad \nabla \sqrt{Ra \, 25} \quad \left(\nabla \sqrt{Ra \, 3.2} \right)$$


注. 個々に指示のない公差は JIS B 0419-mK とする.

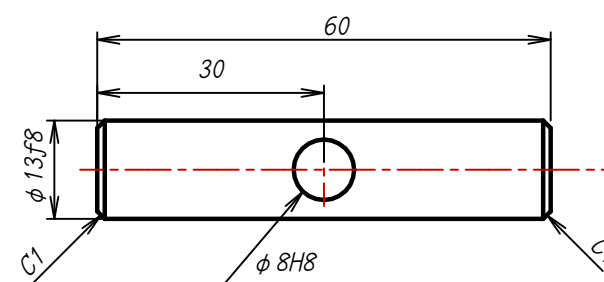
照合 番号	品名	材料	個数	工程	記事
1	本体 A	SC450	1	イ. キ	
2	本体 B	SC450	1	イ. キ	
3	結合こま	S45C	1	キ	
4	結合ピン A	SK95	1	キ	
5	結合ピン B	SK95	1	キ	
6	平行ピンA13×60	S45C	2	ヒ. キ	
7	割りピン2×14	SWRM10	1	ヒ	

③ $\sqrt{Ra\ 25}$ $\left(\sqrt{Ra\ 3.2}\right)$

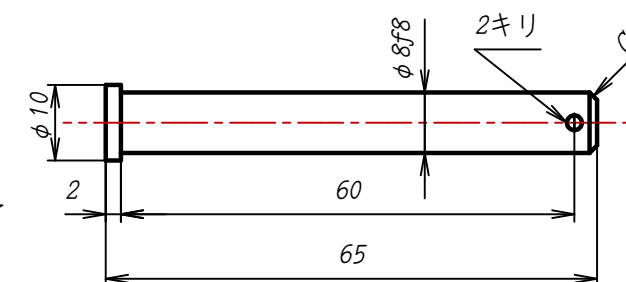


注. 面取りはすべて $C1$ とする

4 $\sqrt{Ra\ 3.2}$

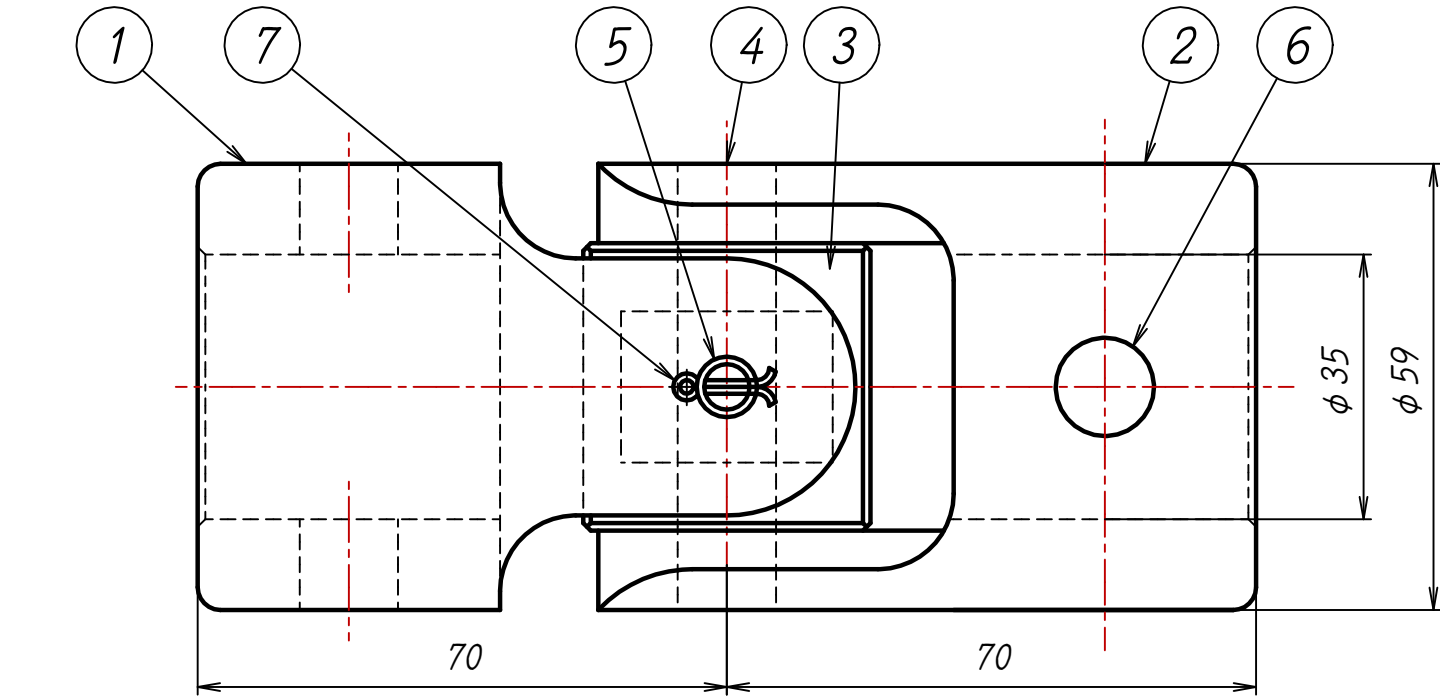


⑤ $\nabla \sqrt{Ra\ 3.2}$

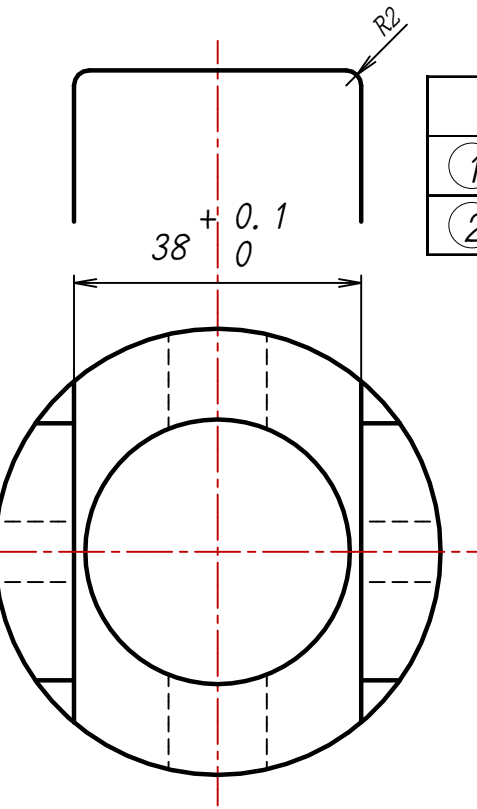


氏名		年組番		校名			
形式	JIS B 1454 C-35	提出日	・	尺度	1:1	投影法	
図名	こま形自在軸継手			図番	4-2-eg15		

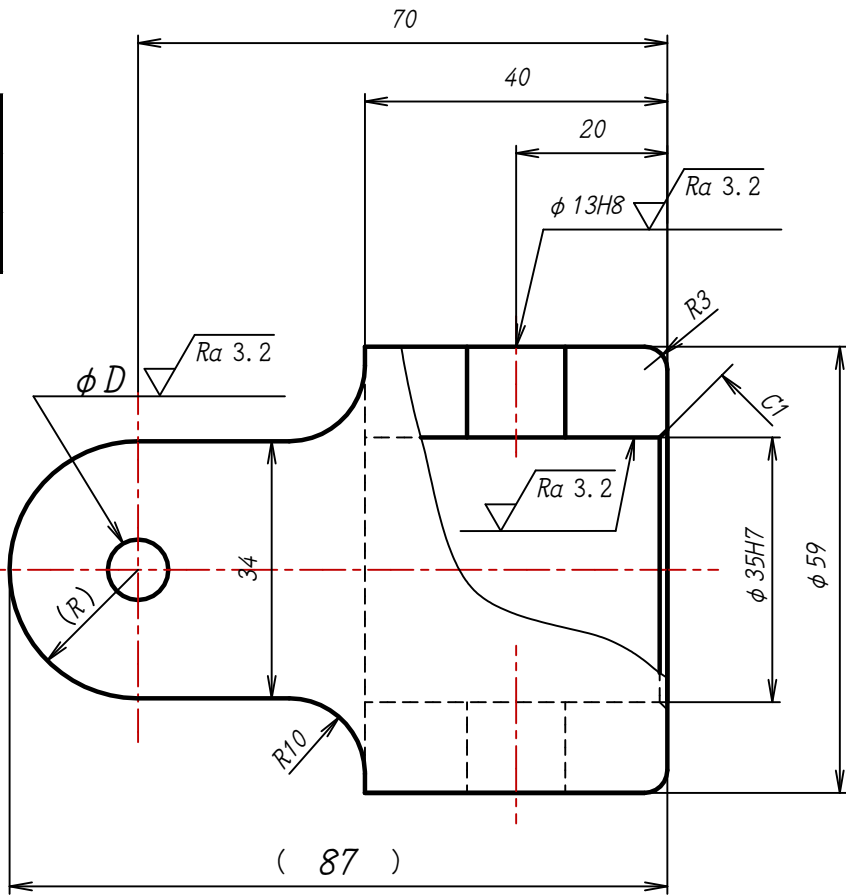
教科書の製図例とは違うところは、赤で示した



① ② $\sqrt{Ra\ 25}$ ($\sqrt{Ra\ 3.2}$)



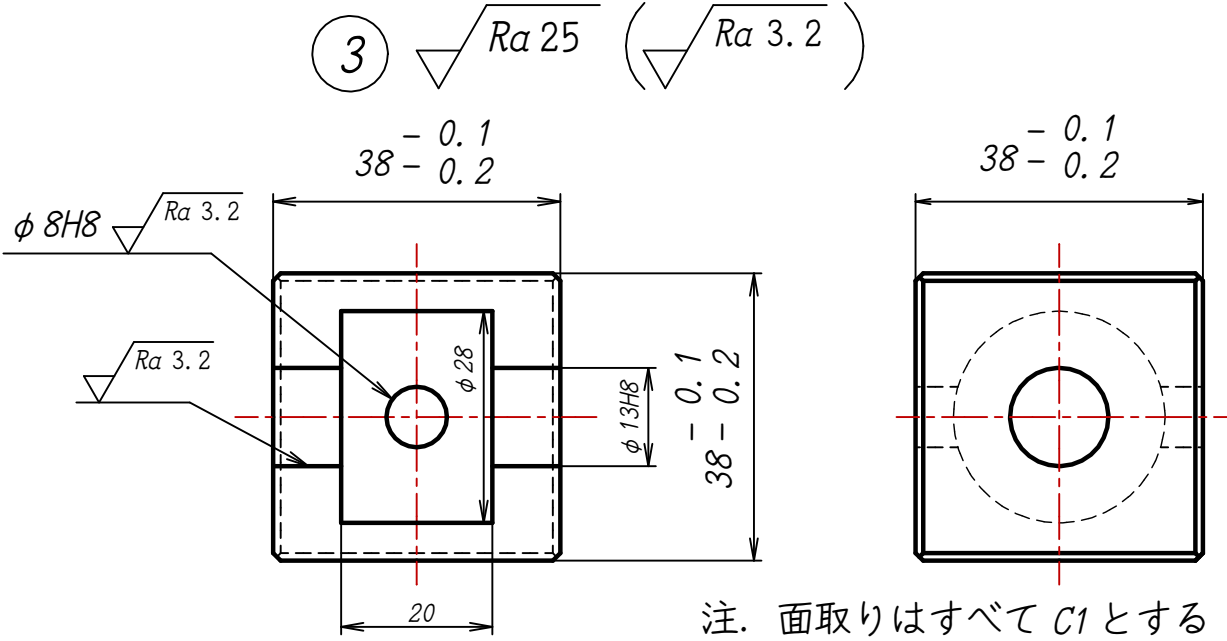
	D
①	8H8
②	13H8



注. 個々に指示のない公差は JIS B 0419-mK とする.

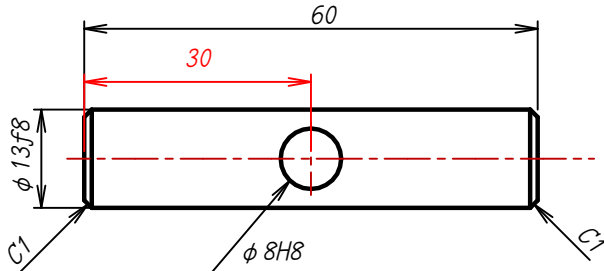
照合番号	品名	材料	個数	工程	記事
1	本体 A	SC450	1	イ.キ	
2	本体 B	SC450	1	イ.キ	
3	結合こま	S45C	1	キ	
4	結合ピン A	SK95	1	キ	
5	結合ピン B	SK95	1	キ	
6	平行ピン A13 × 60	S45C	2	ヒ.キ	
7	割りピン 2 × 14	SWRM10	1	ヒ	

平行ピンの標準品にA13はないので、加工が必要

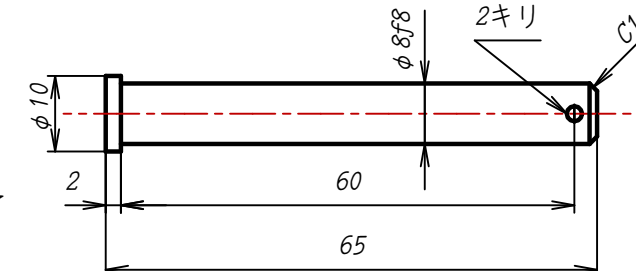


注. 面取りはすべて C1 とする

④ $\sqrt{Ra\ 3.2}$



⑤ $\sqrt{Ra\ 3.2}$



ピンの中央であることを指示する方がわかりやすいと考え、加筆した

氏名		年組番		校名	
形式	JIS B 1454 C-35	提出日	.	尺度	1:1
図名	こま形自在軸継手	図番	4-2-eg15	投影法	